



国際ロータリー2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2253回 例会プログラム

- 例 会 場／YMCA東山荘
- 開 会 点 鐘／12:30
- ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／自然と企業の共存について
キリンディスティラリー
工場長代理 中川一樹様

会 員 慶 事

- 会員誕生日／11月19日 藤田昇司君 11月20日 勝又博文君
- 結婚記念日／11月16日 勝又 厚君 秀子様 ご夫妻
- 11月17日 山崎伊久雄君 久子様 ご夫妻
- 11月17日 藤田昇司君 昌子様 ご夫妻
- 11月18日 小早川豊一君 かず代様 ご夫妻
- 11月18日 山口幸男君 勝子様 ご夫妻
- 11月19日 井上 元君 浩子様 ご夫妻
- 皆 出 席／11月9日 梶原一正君 11月9日 内海隆治君

会 長 挨 拶

高村 繁男



皆様こんにちは、今月はロータリー財団月間という事で先週は財団委員長の内海宣彦さんに卓話をして頂きありがとうございました。

それでは富士山シリーズ第18話 富士塚についてお話をさせていただきます。

⑱富士塚

富士山登拝の信仰が全国に広がると、自分たちの近くにいつでも拝める富士山が欲しいということで、富士塚という模造のミニ富士山が造られるようになりました。

富士塚は頂上に浅間大神を祀るのは皆共通していますが、江戸時代以前のもので江戸時代以降のものでは形態が異なり、江戸時代以前のは丘陵を用いたもので登るというよりも拝む対象とされてきました。それに対し、江戸時代以降のものは富士山の溶岩を積んだものが多く、山内には胎内洞穴や食行身祿が断食入定した烏帽子岩等を作り、拝むというよりも登ることを目的としたようです。

江戸時代以前のものとしては、文明13年(1481)に栃木県で富士塚が造られ、この頃から富士塚築造が行われるようになります。

次に、江戸時代以降のものはといいますと、東京都新宿区の水稲荷神社にある高田富士が、安永8年(1779)に富士山の溶岩を積み上げて築かれており、これが富士山5合目以上を模した最初のもので、江戸時代以前のもので江戸時代以降のものを二分するものといわれています。以後、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・愛知県等の富士山を望める地域には100以上もの富士塚が築造されますが、近いものでは明治期に築造されたものもあるようです。

では富士山の麓静岡県には何基の富士塚があるのかと申しますと、実は1基しかなく、富士市の田子の浦海岸に天の香貝山砦とも呼ばれる富士塚があります。この富士塚は富士登山をする人々が海水で水垢離をした後、1個ずつ石を運び積み上げられた自然石で出来ていたようですが、現在は残念ながらコンクリートで固められています。

会長挨拶用
QRコード11/8の
出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
58名	55名	47名	85.45%	100%

※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

欠席者(8名)

秋田 敬君・藤田昇司君・林 則夫君
神谷高義君・勝又重春君・根上眞一君
内海隆治君・山崎伊久雄君



奉仕を通じて平和を
Peace through Service

次 回
11月22日の
例 会

★12:30点鐘
★名鉄菜館
★生命保険と相続
㈱ライフプラザパートナーズ
笹渕伸央様

ガバナー補佐の任を終えて思うこと



2011-2012 第2620地区
ガバナー補佐

水口正宏君

●おかげさまで何とか死線を越えることができた。

昨年の第一例会の当日（7月7日）午前、私は大腸癌の宣告を受けた。既にステージ4で、即刻入院・手術。翌日に迫ったせせらぎ三島RC他、数クラブは何とかこなせるものの、初回訪問プランは送付済みであったので大ピンチ。

入院中の代役をいかにすべきか考えた末、小野篤之パストガバナー補佐に急遽依頼し、快諾されて一安心。事務担当の豊山徹也君共々、多大な面倒を煩わし、何とか事なきを得てお方にはほんとうに感謝に堪えません。

ガバナー方針の根幹である「Noblest of oblige」のロータリー観とRI会長の主張するターゲット、地区目標を私なりに文章化して伝達することに努めた。

●ガバナー補佐の立ち位置は…

年度の引き継ぎ会や何回かのガバナー補佐の会合で分かったことは、あくまでもガバナー（地区）と各クラブの橋渡し役。あるいは「通訳」に徹したスタンスで臨むこと。分区内の指導的役割は求められるが、大言壮語したり突出した個性は要しないし、そのような立脚点に立つこと自体が誤りである…と。

●第2分区を地区全体から見ると…

分区そのものがエネルギーを失って、ガバナー補佐さえ2クラブが毎年交替で選出しているところがある。その意味からすると、第2分区はごく標準的で、伊豆ブロックと駿東ブロックの性格の違いはあるものの、ノーマルに運営されている。

●わがクラブを外から見ると…

ところで自クラブはどう見られているかということについて、意見聴取に努めた。一般的には地勢学的環境のせい、ローカル色の濃い孤立安定的な見方をされることが多

い。山梨のほうの人たちの見方は必ずしもそうではないが、東海道筋からの見方は共通している感がある。

公式訪問の際のガバナーのクラブ評価にもあったように、クラブの規模と会員数の安定感、地区内で抜群の出席率、昔のRCの面影が残るクラブの表情など、過分とも言える高評価は誰もが認めている。ところが一方で、テリトリー内に優良企業が多いし、人材も豊富なはずなのに「はっきり言って内向きなのではないか」という声が、分区内からも上がっている。ふつう組織や団体が内向き評価を受けるときは、内部が内輪もめしてグループ化している・長老支配がある・外見よりも脆弱化している…といったようなことを意味しているが、文字通り「あまり対外的な顔を持っていない」と考えてよい。もっとはっきり言えば、「クラブの歴史も古く基盤もしっかりしているのに、まだ一度もガバナーを出していないじゃないか。もっと地区や分区に貢献せよ」との声を受け止めてよい。次回、東部に順番が回ってきたらもう拒みきれないよ…という雰囲気。

●内向き志向を打破するために

このところ、各クラブとも会員の高齢化が進んでおり、ガバナーも若返りの傾向が強い。わがクラブもご多聞に漏れず、過日の増強委員長卓話でもクラブ活性化のカギはメンバーの若返りが必要であることが強調されていた。このように見てくると、わがクラブは今やクリフエッジに立たされているという危機的認識を全員が持つ必要がある。健康でフレッシュなガバナーと地区幹事の他に、事務局を構成する10名とさらにそれを補佐する最低20名のスタッフが必要となる。早く立ち上がらないと、背後に崖っぷちが迫っている。

強いクラブをつくるために必要な要素、言い換えればクラブが持続的に成長する原動力は「クラブメンバーの一人ひとりにある」わけで、個々のやる気を最大限引き出すことが肝要だ。

リーダーシップは誰かが執ればいい、何だかんだと理由をつけて俺は駄目だ…というのが全体を弱体化させる一因となるのではないか。また今の時代のリーダーの立場は、上から目線でものを言ったら誰もついてこない。したがって、メンバー全員がキャスト・スタッフとなって演劇を上演する。あるいは全員野球の精神で立ち向かっていかないと、内向き志向を打破できないのではないだろうか（駄弁多謝）。

10/25のメーキャップ

10月13日 青少年交流の家 梶原 一正君
10月13日 青少年交流の家 勝又 安彦君
10月14日 青少年交流の家 勝又 洋君
10月14日 青少年交流の家 勝間田太住君
10月26日 裾野 R C 水口 正宏君
10月29日 甲府 R C 大和田浩二君



司会
大胡田明寿君



ソングリーダー
秋田悦夫君



出席報告
長田富夫君



皆出席
土屋関正君



ペネファクター認証状及びバッジ送付
高村繁男君



新会員認証伝達式



池谷正徳君



第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
http://www.gotemba-rc.jp/

会長○高村 繁男
幹事○臼井 良太
会報委員長○秋田 敬